

平成 25 年度 事業報告

岡山理科大学専門学校

建築と動物そして魚のスペシャリストを養成。学生、保護者、高等学校、地域、関連業界の皆様に支持され愛される学校を目指します。



1. 教員としての資質の向上を図るべく校内研修に加え、校外での各種研修会へ教員を派遣しました。授業観察並びに授業アンケートを実施して、教員の授業力アップに奏功しました。

2. 教員の研究を支援し知的財産の発信を奨励。
3. 平成26年度に向けて、非常勤講師の報酬単価の公正化を図り、財務改善の方策を確立しました。

4. キャリア支援のためにガイダンス回数を増やしました、講師の招聘を推進して内容の充実に努めました。結果、学生が早期にインターンシップに取り組むなど、学生の就業意識の高揚が図れました。

5. 教職員の共通理解と意思の疎通を図り、危機意識の共有により強靱な教職員組織力の構築に努めました。

6. 学校評価、学校関係者評価を実施し、集計・分析を行い、Web公開に踏み切りました。また、建築、動物看護そしてアクアリウム学科において、職業教育の実践を図るべく、教育課程編成委員会を組織しました。

岡山理科大学専門学校 校長 村岡 正

教学並びに施設の充実

■きめ細かい教育

チューター及びサブチューターを中心とした教職員が学生個々を把握し、専門技術の習得はもとより、学生とのコミュニケーションを密にとり学習意欲の維持、メンタル面のサポート、就職活動の啓蒙等から満足度の高い学生生活をサポートします。学生に対して専門教育の重要性、青年期の精神面や思考等について学生対象の講演会を実施しました。

■産官学連携の教育

平成21年度より、真庭市と包括教育協定を締結しました。そして、平成22年度は「温泉」をキーワードに動物看護の分野により、「温泉入浴の動物に対する効果」の研究や、建築学科においては「温泉街の活性化プラン（例）」の提案など自治体と専門学校の連携による教育を開始しました。温泉実験について、初年度は異常気象および研究の初歩段階により、特に夏場はデータにばらつきなどもありましたが、平成23年度における実験では犬にもたらず温泉効果は入浴後に現れていることが確認でき、平成23年12月5日には研究の中間発表を行いました。来年度に向けても、更なる研究を行いたいと考えます。岡山県および岡山市が開催するそれぞれの動物愛護フェスティバルに積極的に関与・参加し動物愛護啓蒙運動に参画しました。アクアリウム学科においては、企業との受託研究を積極的に展開し、各種の実験データから実用的な水生生物の飼育・繁殖の実習をおこない、企業との連携を図りました。

■カウンセラーの配属

従来、精神的な悩みを抱えた学生は岡山理科大学等が招聘したカウンセラーに相談をしまいましたが、潜在的に悩みを抱えた学生も多く本校に専門のカウンセラーを定期的に招聘し学生並びに教職員の心の問題解決などのケアを行っています。今年度についても継続し、学生にとって一層利用し易くなるようカウンセリングが出来る日を増やし、学生生活の充実を図りました。今年度の相談件数は43件あり、学生の精神的な悩みをカウンセリングにより、軽減できているとの報告がありました。

■地域との交流

地域社会に愛され、育まれ、地域と共に教育活動を展開して参りました。

教職員の意識改革

■自己点検、自己評価 FD・SD

専任教員及び非常勤講師対象に実施している授業アンケート結果を踏まえ、より良い授業が展開できるよう改善指導を実施しました。

専任教員の授業担当時間を精査し、職位、校務分掌を考慮し均等化を目指し、また自己研鑽できる時間を創出するよう配慮しました。

事務職員の対応及び施設設備等についてアンケートを実施し、学生の満足度アップに繋がるよう教育的考慮を加味し実践しました。

■コスト意識

人件費、光熱水費、教育・研究用消耗品について有効活用、合理化、節約について事ある毎に啓蒙し、エコ教育に繋げております。今後も継続的に実施する予定です。

学科・コースの充実

■動物看護学科 3年制

高度医療に対応する動物看護師養成と動物看護

師の国家資格化に対応するため、従来の2年制コースに加えて、3年制のコースを平成22年度から開始しました。

少子高齢化が進む昨今、家庭内でペットはコンパニオンアニマルとして家族の一員、時にはそれ以上の存在です。そのコンパニオンアニマルの健康、長寿を手助けする獣医師をサポートする幅広い専門技術と知識を備えた動物看護師を養成します。第一回目の実施した「動物看護職統一認定試験」では100%の合格者を出し、今年度は36名全員が受験し、35名が合格しました。

また、この3年制コースの目的は、動物看護師の制度化に伴う看護師の公的資格化とともに、現在の動物医療界における高度医療への要望、食品メーカーや大動物分野等の小動物病院以外への地域の拡大、人と動物の関係を担う福祉分野のニーズにも対応しております。

平成26年度に向けて

■既存学科の充実

動物系の学科を立ち上げて11年を迎えました。卒業生が、各現場での活躍や新しい分野での今後の発展が期待されるペット業界ではありますが、景気低迷等の影響から市場がやや縮小傾向ではありますが、既に現場で活躍している卒業生を手本として、更に教育向上し、充実させたいと考えています。

今後の岡山理科大学専門学校の繁栄を期して既存の分野、建築系、アクア系、動物系の連携を図り、これから更に充実した教育内容や資格取得に努め、就職域の拡大に努めます。

■学校周辺の地元を対象とした学校見学会

本校の教育内容を知って頂くことにより、更なるご理解・ご協力を賜るため地元の方々を対象とした学校見学会を実施、近隣地区の中学生や小学生授業研究も開催しております。今年度も引き続き、学校見学会を開催し本校の教育内容や施設などを多くの方々が学校を訪問できるよう準備しました。

キャリア支援

■ 就職活動ガイダンス

1年生	4月	キャリア教育講座
	6月	職業理解講座
	9月	進路選択支援講座
	11月	インターンシップ実践講座
	2月	就職活動講座
2年生	4月	履歴書、面接指導
	6月	内定礼状の書き方指導

■ キャリア教育

これまでの課外時間（5時限）を利用した就職ガイダンスに加えて、ホームルームの時間を利用したクラス単位での就職ミニガイダンスを随時実施し、きめ細かい就職活動支援を行う機会を設け、実施展開しました。

■ 就職活動支援

1年次12月の段階での進路希望調査書を基に1月より第一希望の分野を決定していきます。動物系においても一般企業を希望する学生は2月より直ちに就職活動を開始させ、満足度の高い企業への就職を目指すよう指導します。動物系専門職への就職は3月以降のインターンシップ実習により第一志望企業への内定獲得を目指します。

また、学生の就職意識啓蒙と就職相談の充実を図るため、就職支援会議を定期的に開催し、就職課と各学科長との連絡・協力を密にしていきます。

関係事業所への訪問に力を入れ、就職先の開拓に努め、学生のニーズに応えます。

学生募集

広報活動と就職先事業所開拓を系統的に実施し、相乗効果を生む取組を模索します。

■ 資料請求者への積極的なアプローチ

ホームページ、進学情報誌等を通じた資料請求数は

増加傾向にあります。気軽に資料請求が行えるようになった一方、オープンキャンパスや進学相談会等の対面でのアクション数には変化がみられない。この点に変化を加えることで受験者数を増加させたいと考え、資料請求者の学年や時期に合わせ継続的に情報の提供を行い、オープンキャンパスなどへの動員を促します。また保護者への情報提供も重要と考え送付内容を充実させております。

■ 卒業生の情報提供

高校訪問時の本校PR中心の内容に加え、卒業生の学生生活の状況を伝えるため、学生から出身高校へのコメントをもらい、実習中の様子が分かるよう写真を撮って高校に提供しました。このシートを作成し配布することでより身近な学校に感じてもらえるよう行いました。

■ 社会人の受験生増加を図る

18歳人口の減少により社会人の受験生を各学科において増加させることに力を入れております。

今年度も社会人入試を実施し、既卒者へ社会人入試の実績・PRを行う事で学校全体で35名が入学いたしました。

■ 広報強化地域

建築系、動物系においてそれぞれ学生確保が期待できる地域を分析し、積極的にメディア、高校訪問、説明会を駆使し広報活動を展開しました。

■ 単位制、長期履修制度

完全単位制への移行を目指すと共に、長期履修制度を取り入れ、就労者に対しての就学の利便性を整え、入学者増に繋げ、特に建築学科夜間部においては7名の入学者があり、昨年度より約1.5倍になりました。

主な行事

4月4日	入学式
4月11日	授業開始
6月12日	球技大会
7月18日 ～8月25日	夏季休暇
9月10日 ～14日	前期末試験
10月1日	後期授業開始
12月22日 ～1月9日	冬期休暇
3月20日	卒業式

学生・教職員数

■在籍学生数

(平成25年5月1日現在)

課程・学科名		入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
工業 専門課程	建築学科(昼間部)	40	28	80	68
	建築学科(夜間部)	20	11	40	20
	福祉住環境デザイン学科 (募集停止)		—	—	—
	計	60	39	120	88
商業実務 専門課程	映像情報学科 (募集停止)		—	—	—
	計	(募集停止)	0	0	0
文化・教 養専門課 程	動物看護学科 3年制	30	13	90	41
	〃 2年制	20	27	40	46
	トリミング学科	40	35	80	77
	ドッグトレーニング学科	40	38	80	85
	アクアリウム学科	40	38	80	72
	計	170	151	370	321
文化・教 養一般課 程	トリミング学科 (募集停止)		—	—	—
	ドッグトレーニング学科 (募集停止)		—	—	—
	アクアリウム学科 (募集停止)		—	—	—
	計	(募集停止)	—	—	—
合計		230	190	490	409
専攻科 研究科	建築学科専攻科	10	10	10	10
	動物系総合学科研究科	10	20	10	20

(単位：人)

■ 卒業生数等一覧

(平成25年度)

区分	卒業生	就職希望者 A	就職者 B	就職率 B/A	進学者	退学者・ 除籍者	休学者	留年者 ※
岡山理科大学専門学校	218	180	167	93%	23	29	1	2

※ 修業年限を超えて在籍している学生数 (平成26年4月1日現在)

(単位：人)

主な就職先	3 123
-------	----------

■ 教職員数

(平成25年5月1日現在)

校長	副校長	教員	教員 計
1	0	12	13

事務職員
12

(単位：人)

財務関係

■ 消費収支

(単位：千円)

年度 科目	25年度 決算額	前年度 決算額
学 納 金 収 入	357,320	382,492
補 助 金 収 入	181	318
そ の 他 収 入	6,729	4,829
帰 属 収 入 合 計	364,230	387,640
基本金組入額合計	△ 4,307	△ 16,729
消費収入の部合計	359,923	370,911
人 件 費	221,201	221,914
教育研究経費	74,007	79,736
管 理 経 費	29,984	29,818
そ の 他 支 出	1,303	1,607
消費支出の部合計	326,495	333,076

■ 施設設備整備

(単位：千円)

事業名	金額
3校舎2階電気設備一式	595
実習棟電気設備一式	382
1学舎2階講義室エアコン設備一式	1,600
小動物用マットヒーター1台	70
生物実習顕微鏡5台	700
大型クーラー1台	720
1校舎2階第2実習室フロッタ1台	300
3校舎2階パーテーション一式	372